

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
121331053	ソーシャルメディア活用Ⅰ(写真) Applied social mediaⅠ (photograph)	岡川 卓詩			1	選択	3前期

科目の概要

本科目はソーシャルメディアを通じて情報を発信していく際に重要になる画像の扱いについて学んでいくことを目的としている。授業では、ラスターイメージの特徴を理解し、訴求力のある写真の撮影方法や、ペイント系のソフトウェア（Adobe Photoshop）を使った画像の補正、画像の合成・加工といったコンピュータによる画像編集の方法を実践的に学んでいく。
ここで修得する知識・技能はソーシャルメディアによる情報発信の一助になるに止まらず、今後、様々な場面でビジュアルプレゼンテーションを行う際、有効に活用できる。これはDP2「ライフスタイルのデザインを提案するため」の強力なツールともなる。

学修内容	到達目標
① ラスターイメージの特徴を知る。 ② 効果的な写真撮影のポイントを知る。 ③ Adobe Photoshop の基本操作を学び、操作法を確認する。 ④ 適切な技術の選択、組み合わせより、独自の表現に導く方法を知る。	① ラスターイメージの特徴を理解し、説明することができる。 ② 訴求力のある写真が撮影できる。 ③ Adobe Photoshop を使って、画像の編集、加工ができる。 ④ 与えられた課題に対して創造性を発揮し、独自の表現へと昇華できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	授業時間外の時間を使い、課題の準備、操作方法の予・復習に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題の作成にあたって自ら高い目標を設定し、そこへ到達するための努力ができる。
考え抜く力	課題発見力	課題作成のために複数の事例にあたり、発想を広げることができる。
	計画力	
	創造力	課題の条件を複数の観点から検討し、先行事例を有効に活用しながら独自性のある作品を完成させることができる。
チームで働く力	発信力	課題作品のコンセプトを作品内に反映させるのみならず、口頭でも説明できる。
	傾聴力	学生同士で意見を交換しながら課題作成に取り組むことができる。 他学生の課題作品のプレゼンテーションから、新たな価値を見出すことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	条件に従って課題を作成し、かつ期限内に提出できる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

資料はgoogle classroomにて提示する。
参考文献については授業内で適宜紹介していく。

他科目との関連、資格との関連

本科目の前に「デジタルデザイン演習」を受講しておくこと。また「ソーシャルメディア活用Ⅱ（動画）」の受講を希望する学生は、必ずこの科目を受講しておくこと。

学修上の助言	受講生とのルール
デジタルカメラやコンピュータの特性を活かしながらグラフィックデザインの仕組みを考察し、各自の表現へとつなげていくために、日頃から様々なメディアを通してすぐれたデザインを接することを心掛けること。	課題の作成にあたっては、アイデアの検討や材料の収集などを事前に行き、しっかりと準備しておく必要がある。また、より良い作品にするためにも授業時間外で作業に充てる時間を惜しまないようにすること。 6回以上の欠席（遅刻は3回で欠席1回分とする）は科目放棄とみなす。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①					
				②					
				③					
				④					
	平常評価	小テスト	0	①					
				②					
				③					
				④					
		レポート	0	①					
				②					
				③					
				④					
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓				・練習課題については ①機器やソフトウェアの操作方法の理解度 ②作業の丁寧さ ・課題作品については 技術力…作品の完成度（授業内で覚えた機能の的確な使用） ③表現力、企画力…作品の構成や工夫を軸に評価する。
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓				【主体性】授業時間外の時間を使い、課題の準備、操作方法の予・復習に取り組むことができる。 【実行力】課題の作成にあたって自ら高い目標を設定し、そこへ到達するための努力ができています。 【課題発見力】課題作成のために複数の事例にあたり、発想を広げることができる。 【創造力】課題の条件を複数の観点から検討し、先行事例を有効に活用しながら独自性のある作品を完成させることができる。 【発信力】課題作品を口頭でしっかりと説明できる。 【傾聴力】学生同士で意見を交換しながら課題作成に取り組むことができる。 他学生の課題作品のプレゼンテーションから、新たな価値を見出すことができる。 【規律性】条件に従って課題を作成し、かつ期限内に提出できる。	
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①場面に応じてAdobe Photoshop の諸機能を適切に選択できる。 ②複数の視点から与えられた課題を検討した上で、創造性を発揮し、独自の表現を示すことができる。 ③作品のデータが、正確かつ丁寧に仕上げられている。 上記3項目の基準を全て満たし、そのうち1項目以上の基準に対して極めて高い評価が与えられると判断された場合、S（秀）評価をする。	①Adobe Photoshop の操作法が理解できており、自由に扱うことができる。 ②与えられた課題に対して創造性を発揮し、作品を制作できる。 以上の条件が満たされた場合にB評価とする。 C評価の基準は授業計画「到達レベルC(可)の基準」に準ずる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	ソーシャルメディアとは何か SNSでの情報発信 写真撮影・公開に関するルールとマナーについて知る	講義	ソーシャルメディアの特性が理解できる。 写真撮影・公開に関するルールとマナーについて理解できる。	(予習) シラバスを読み、科目の概要を確認しておく。 (復習) 講義内容を再確認する。	90	主体性 実行力 規律性
2	写真撮影の基本1 デジタル写真(ラスタライメージ)の基本 カメラの仕組みや基本的な機能を知る ※小テスト	講義	ラスタライメージの基本的な仕組が理解できる。 カメラの仕組みや基本的な機能を理解できる。	(予習) 事前に配布された資料を読み、講義の概要を確認しておく。 (復習) テストで間違えた箇所を復習する。	90	主体性 実行力 規律性
3	写真撮影の基本2 シャッタースピード、絞り、ISO 機能を活用した撮影方法を知る ※練習課題	実習	カメラの仕組みや基本的な機能を活用できる。	(予習) 事前に配布された資料を読み、授業の概要を確認しておく。 (復習) 未完了の練習課題を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
4	写真撮影の基本3 構図や対象の切り取り方によるイメージの変化について考える ※練習課題	講義 実習	被写体のイメージがより伝わるような構図を考えながら写真撮影ができる	(予習) 事前に配布された資料を読み、授業の概要を確認しておく。 (復習) 未完了の練習課題を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
5	写真撮影の基本4 ライティングの違いによるイメージの変化について考える ※練習課題	講義 実習	ライティングの工夫しながら写真撮影ができる。	(予習) 事前に配布された資料を読み、授業の概要を確認しておく。 (復習) 未完了の練習課題を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
6	写真撮影の基本5 レンズの仕様とクローズアップ撮影や前後ボケの撮影方法を知る ※練習課題	講義 実習	レンズの仕様について理解してクローズアップや前後ボケ撮影ができる。	(予習) 事前に配布された資料を読み、授業の概要を確認しておく。 (復習) 未完了の練習課題を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
7	課題1 テーマによる撮影をする	実習	課題条件に沿って写真を撮影し、期限内に提出できる。	(予習) 課題のアイデアを複数検討する。 (復習) 未完了の課題を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
8	※課題1のプレゼンテーションと講評 ペイント系ソフトウェアの特徴とPhotoshopのインターフェイスを知る。	プレゼンテーション 講評 講義	自分の作品のプレゼンテーションができる。 Photoshopのインターフェイスが理解できる。	(予習) 事前にテキストを読み、授業の概要を確認しておく。 (復習) Photoshop のインターフェイスを再確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	画像編集1 色調補正色相、彩度、 明度、コントラストの 調整、範囲の選択・ト リミング画像の範囲の 選択指定方法を知る。 ※練習課題	講義 実習	色調の補正をおこなう ことができ、画像の任 意の箇所を複数の方法 で選択することもでき る。	(予習) 色調調整の方 法、像の範囲の選択指 定方法をテキストで確 認する。 (復習) 画像の色調調 整の方法と画像の範囲 の選択指定方法を再確 認し、未完了の練習課 題を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
10	画像の編集2 画像の修正・加工 レタッチしてゴミや不 要物を消去する方法を 知る。 ※練習課題	講義 実習	画像内の余分な情報を 消去することができ る。	(予習) 画像の修正・ 加工の操作方法をテキ ストで確認する。 (復習) 画像の修正・ 加工の方法を再確認 し、未完了の練習課題 を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
11	画像の編集3 非破壊編集 調整レイヤー、スマー トオブジェクト、レイ ヤーマスクなど非破壊 編集の方法を知る。 ※練習課題	講義 実習	非破壊編集による画像 の補正、編集ができ る。	(予習) 非破壊編集の 方法をテキストで確認 する。 (復習) 非破壊編集の 方法を再確認し、未完 了の練習課題を完成さ せる。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
12	画像の編集4 画像の合成 レイヤー機能を使用し て、複数の画像を合成 する方法を知る。 ※練習課題	講義 実習	複数の画像を合成する 補正、編集ができる。	(予習) レイヤーの基 本操作をテキストで確 認する。 (復習) レイヤーの操 作方法を再確認し、未 完了の練習課題を完成 させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
13	課題2 フォトコラージュ	実習	課題条件に沿って作品 を作成し、期限内に提 出できる	(予習) 課題作成のた めのアイデアと材料を 揃えておく。 (復習) 未完了の課題 を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
14	課題2 フォトコラージュ	実習	課題条件に沿って作品 を作成し、期限内に提 出できる。	(予習) 課題作成のた めのアイデアと材料を 揃えておく。 (復習) 未完了の課題 を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
15	※課題2のプレゼン テーションと講評 課題2の修正	プレゼンテーション 講評 実習	自分の作品のプレゼン テーションができる。 作品の問題点を発見 し、修正することがで きる。	(予習) プレゼンテー ションの準備をする。 (復習) これまでに提 出した練習課題、課題 を確認し、不十分なも のについて、再制作・ 再提出する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力